

国立大学法人

上越教育大学 学校教育学部

入学者選抜要項 2027

目 次

1	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集人員	2
3	入学者選抜方法	3
4	出願資格	3
5	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	4
6	一般選抜	6
7	学校推薦型選抜	8
8	総合型選抜	10
9	受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	14
10	学生募集要項の発表	14
11	学生募集要項等の入手方法	14
12	出願方法	16

入試関係日程一覧

入 試 方 法	出 願 期 間	試 験 日	合格者の発表
総合型選抜（Ⅰ型／ 新潟次世代教員養成 プログラム）	令和8年9月1日（火） ～9月7日（月）	【第1次選考】 令和8年10月10日（土）	【第1次選考】 令和8年11月9日（月）
		【第2次選考】 （大学入学共通テスト）	【第2次選考】 令和9年2月10日（水）
総合型選抜（Ⅱ型）	令和8年9月1日（火） ～9月7日（月）	【第1次選考】 令和8年10月11日（日）	【第1次選考】 令和8年11月9日（月）
		【第2次選考】 （大学入学共通テスト）	【第2次選考】 令和9年2月10日（水）
学 校 推 薦 型 選 抜	令和8年12月1日（火） ～12月8日（火）	令和9年1月29日（金）	令和9年2月10日（水）
一 般 選 抜 （ 前 期 日 程 ）	令和9年1月25日（月） ～2月3日（水）	令和9年2月25日（木）	令和9年3月8日（月）
一 般 選 抜 （ 後 期 日 程 ）		令和9年3月12日（金）	令和9年3月23日（火）

令和9年度上越教育大学入学者選抜要項

1 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

上越教育大学では、「上越教育大学学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針」を策定し、公表しています。

以下に、教育の理念・目的、学校教育学部の目標、入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）を示します。

1 教育の理念・目的

上越教育大学（以下「本学」という。）は、本学大学憲章に基づき、子供の未来を切り開くことのできる確かな実践力を備え、我が国の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指している。

教員という職業は、豊かな人間性に支えられた専門職である。その専門性には、子供たちの学習と生活を支援でき、そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する、つまり様々な学問分野の考え方を整理・統合し、人間の文化的営みを理解できる総合的な資質・能力が求められている。

そのため、本学では、「21世紀を生き抜くための能力（基礎力・思考力・実践力）」を身につけ、「人間力（優れた人格・豊かな感性・未来創造力）」を備え、さらに「教育実践力（豊かな教養・高度な専門的知識・優れた教育技術・使命感・創造力・人間愛）」及び「学び続ける力」を有する教員を養成する。

2 学校教育学部の目標

主として初等教育教員の養成に関する社会的要請に応えるべく、深い人間理解と豊かな学識及び優れた教育技術を備えた教員を養成する。

そのため、教員としての使命感や責任感を育むとともに、社会性や対人関係の力、子供を理解し学級を運営する力、人文科学・社会科学・自然科学・芸術・スポーツについてのバランスのとれた専門的能力とその指導力など、教員に必要な基本的資質と実践的な能力を養成する。

3 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

(1) 本学では、以下に掲げる学生を求めている。

ア 高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。【知識・技能】

イ 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。【思考力、判断力、表現力】

ウ 生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

エ 教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。【人間力】

(2) 以上の受入れの方針に基づいて、本学では、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜（Ⅰ型・Ⅱ型）の五つの方法により、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜する。

選抜区分	選抜方法	学力の3要素等			
		知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	人間力
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○		
	小論文		○		
	集団面接			○	○
	調査書			○	
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	調査書			○	

選抜区分	選抜方法	学力の3要素等			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	人間力
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	推薦書	○	○	○	
	自己推薦書			○	○
	調査書			○	
総合型選抜Ⅰ型 (新潟次世代教員養成プログラムに係る選抜)	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接（プレゼンテーションを含む）		○	○	○
	プログラム（前期）総合評価		○	○	○
	調査書			○	
総合型選抜Ⅱ型	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接（プレゼンテーションを含む）	○	○	○	○
	自己推薦書	○	○	○	○
	調査書			○	

○：主な評価項目

※卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページ（<https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/R08faculty.html>）をご覧ください。

2 募集人員

学 部	課 程	入学定員	募 集 人 員		備 考
学校教育学部	初等教育教員養成課程	160人	一 般 選 抜 (前 期 日 程)	60人	
			一 般 選 抜 (後 期 日 程)	28人	
			学校推薦型選抜	50人	
			総合型選抜(Ⅰ型)	10人	
			総合型選抜(Ⅱ型)	12人	

(注1) 総合型選抜(Ⅱ型)の募集人員については、音楽・美術・保健体育・英語・数学・理科の6教科(各教科最大2人)になります。

(注2) 学校推薦型選抜及び総合型選抜の入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜(前期日程)の募集人員に加えます。

(注3) 2年次から、本人の希望と1年次の成績に基づいて、次のいずれかのコースに所属することになります。なお、総合型選抜(Ⅱ型)の合格者については、13ページをご確認ください。

学校教育専修(160人)

学校教育コース、教科教育・教科複合コース、幼年教育コース、心理臨床コース

3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により行います。

- ① 一般選抜（前期日程、後期日程）
- ② 学校推薦型選抜
- ③ 総合型選抜（Ⅰ型、Ⅱ型）

4 出願資格

（１） 一般選抜

次のいずれかに該当し、かつ、令和９年度大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を受験した者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和９年３月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は令和９年３月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における１２年の課程を修了した者若しくは令和９年３月３１日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和９年３月３１日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和９年３月修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和２３年文部省告示第４７号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑧ 学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第９０条第２項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和４年文部科学省令第１８号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- ⑨ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したものの又は令和９年３月３１日までに１８歳に達するもの

【上記出願資格⑨により出願する場合は、事前に審査を行う必要があります。詳細については、本学のホームページ（<https://www.juen.ac.jp/>）でご確認ください。】

（２） 学校推薦型選抜

次のいずれかに該当し、かつ、令和９年度大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を受験する者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を令和７年４月から令和８年３月までに卒業した者又は令和９年３月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第９３条第３項及び第１０３条第１項等の規定に基づき、令和８年度の学年の途中において高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者を含む。）
- ② 高等専門学校第３学年を令和７年４月から令和８年３月までに修了した者又は令和９年３月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和７年４月から令和８年３月までに修了した者又は令和９年３月３１日までに修了見込みの者

（３） 総合型選抜

次のいずれかに該当し、かつ、令和９年度大学入学共通テスト（５教科５科目）を受験する者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を令和９年３月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による１２年の学校教育を令和９年３月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和９年３月３１日までに修了見込みの者

5 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

(1) 一般選抜及び学校推薦型選抜

一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する者は、次に掲げる令和9年度大学入学共通テストの6教科8科目又は7教科8科目の受験を要します。

教科	グループ	科目名及び利用科目の選択方法
国語		『国語』 1科目
地理歴史		『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』(注1) 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 から1又は 2科目 (注2)
公民		
理科		
		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注3) 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 から1又は 2科目 (注5)
数学	①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』から1科目
	②	
外国語		『英語』(注8) 1科目
情報		『情報Ⅰ』 1科目

※『』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表します。

(注1) 『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つの出題範囲から2つを選択解答してください。

(注2) 公民から2科目を選択する場合には、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。

また、『地理総合／歴史総合／公共』で選択解答した出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

(注3) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つの出題範囲から2つを選択解答してください。

(注4) 理科から1科目を選択する場合は、地理歴史・公民から2科目を、理科から2科目を選択する場合は、地理歴史・公民から1科目を選択してください。

(注5) 理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む2科目を選択する場合は、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答する出題範囲と同一名称を付した科目（「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』、「地学基礎」と『地学』）の組合せを選択することはできません。ただし、地理歴史・公民で2科目を選択する場合は、この限りではありません。

この場合における本学の成績利用方法は、(注6) 2. のとおりです。

(注6) 地理歴史・公民から2科目を受験し、理科から2科目を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の3科目の成績を用います。

1. 理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む2科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と異なる名称を付した出題科目を受験した場合。

ア 地理歴史・公民の第1解答科目

イ 理科の第1解答科目

ウ 地理歴史・公民の第2解答科目又は理科の第2解答科目のどちらか高得点の科目

2. 理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む2科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と同一名称を付した出題科目を受験した場合。

ア 地理歴史・公民の第1解答科目

イ 地理歴史・公民の第2解答科目

ウ 理科の第1解答科目又は第2解答科目のどちらか高得点の科目

3. 理科において、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目の出題科目を受験した場合は、上記1の利用方法に準じます。
- (注7) 数学の科目において、『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択してください。
- (注8) 外国語の『英語』については、リーディング及びリスニングを課します。
- なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、リーディングのみを課します。

(2) 総合型選抜

総合型選抜に出願する者は、次に掲げる令和9年度大学入学共通テストの5教科5科目の受験を要します。

教科	グループ	科目名及び利用科目の選択方法
国語		『国語』(注7) 1科目
地理歴史		『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』(注1) 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 } から1科目(注3)
公民		
理科		
		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注2) 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 } から1科目(注3)
数学	①	『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』(注4) } から1科目(注5)
	②	
外国語		『英語』(注6)(注7) 1科目

※『』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表します。

- (注1) 『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つの出題範囲から2つを選択解答してください。
- (注2) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つの出題範囲から2つを選択解答してください。
- (注3) 地理歴史・公民又は理科において2科目を受験した場合は、第1解答科目又は第2解答科目のどちらか高得点の科目を利用します。
- (注4) 数学の科目において、『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択してください。
- (注5) 数学において2科目を受験した場合は、数学①又は数学②のどちらか高得点の科目の得点を利用します。
- (注6) 外国語の『英語』については、リーディング及びリスニングを課します。
- なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、リーディングのみを課します。
- (注7) 『国語』及び『英語』の2つの科目（各200点満点）は、それぞれ100点満点に換算します。
- なお、『英語』のリスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を英語の得点とします。

6 一般選抜

(1) 前期日程

<選抜方法>

① 大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）及び小論文の成績並びに面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。

② 「思考力、判断力、表現力」を評価するため、小論文を課します。

【思考力、判断力、表現力】

物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。

③ 面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、集団面接試験を行います。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

④ 面接は、次によるものとします。

ア 面接形式は、受験者5人程度の集団面接とします。

イ 面接は、3人の面接担当者で行います。

ウ 個別質問、プレゼンテーション、集団討論を行います。

エ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

⑤ 大学入学共通テストと小論文の配点比率は、10：3とします。

配点内訳は、次のとおりです。

なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト								小論文	面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	情報	計		
200	100又は200	100 又は200	200	200	200	100	1000	300	段階評価 とする

(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とします。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

⑥ 小論文及び面接は、令和9年2月25日(木)に行います。

(2) 後期日程

<選抜方法>

① 大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）の成績及び面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。

② 面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意志に関して質問する個別面接試験を行います。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

③ 面接は、次によるものとします。

ア 面接形式は、個別面接とします。

イ 面接は、3人の面接担当者で行います。

ウ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

④ 大学入学共通テストの配点内訳と面接の評価は、次のとおりです。

なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト								面 接
国 語	地理歴史	公 民	理 科	数 学	外国語 (英語)	情 報	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	100	1000	段階評価とする

(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とします。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

⑤ 面接は、令和9年3月12日(金)に行います。

7 学校推薦型選抜

＜推薦要件＞

令和7年4月から令和8年3月までに高等学校等を卒業（修了）又は令和9年3月高等学校等を卒業（修了）見込みの者（「4 出願資格」参照）で、次の①から③までの全てに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者です。

なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。

- ① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
- ② 令和9年度大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）を受験する者
- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
（注） 上記の推薦要件に該当しない者については、出願書類を受理しません。

＜選抜方法＞

- ① 出身学校長の推薦に基づき、面接及び令和9年度大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）の成績により、入学者を選抜します。

- ② 面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問します。

また、推薦書では「知識・技能」と「思考力、判断力、表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、自己推薦書では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価します。

【知識・技能】

高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。

【思考力、判断力、表現力】

物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

- ③ 面接は、次によるものとします。
ア 面接形式は、個別面接とします。
イ 面接は、3人の面接担当者で行います。
ウ 面接は、推薦書、自己推薦書の内容に加え、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。
- ④ 大学入学共通テストと面接の配点比率は、10：3とします。
配点内訳は、次のとおりです。
なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト								面 接
国 語	地理歴史	公 民	理 科	数 学	外国語 (英語)	情 報	計	
200	100又は200	100 又は200	200	200	200	100	1000	300

（注1）外国語の英語については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）とします。

（注2）リスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

⑤ 面接の成績が配点の50%未満の場合には、合格者としません。

⑥ 面接は、令和9年1月29日(金)に行います。

<その他>

学校推薦型選抜に出願する者は、本学の一般選抜及び総合型選抜にも出願することができます。

ただし、総合型選抜の第1次選考合格者は、出願することができません。

8 総合型選抜

(1) I 型（新潟次世代教員養成プログラム）

＜出願要件＞

次の①～④に該当する者です。

- ① 令和7年度（第2期）上越教育大学新潟次世代教員養成プログラム（前期プログラム）を修了した者
- ② 卒業時、新潟県内の学校教員になることを希望する者
- ③ 最終（第2次選考）合格した場合は、入学することを確約できる者
- ④ 入学後に新潟次世代教員養成プログラム（後期プログラム）を受講することを確約できる者

＜選抜方法＞

- ① 新潟県内で教職に就く強い意欲を持つ高校生であり、高大接続に係る「新潟次世代教員養成プログラム（前期プログラム）」受講者（修了者）を対象に、第1次選考及び第2次選考（大学入学共通テスト（5教科5科目））により、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲・目的意識等を総合して選抜します。
- ② 第1次選考は、次によるものとします。
 - ア 前期プログラム総合評価
前期プログラムでは、「思考力、判断力、表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「人間力」を評価します。
 - イ プレゼンテーション及び面接
プレゼンテーション及び面接では、「思考力、判断力、表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「人間力」を評価します。
 - 【思考力、判断力、表現力】
物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。
 - 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。
 - 【人間力】
教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。
- ③ プレゼンテーションは、次によるものとします。
 - ア 受験者は、あらかじめ提示された課題に対する考えをまとめ、プレゼンテーション用の資料を用意します。
- ④ 面接は、次によるものとします。
 - ア 面接形式は、個別面接とします。
 - イ 面接は、3人の面接担当者で行います。
 - ウ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。
- ⑤ 第1次選考における合否の判定基準は、次のとおりとします。
 - ア 前期プログラム総合評価（配点300点）、プレゼンテーション（配点500点）及び面接（配点200点）の合計点の得点順に第1次選考の合格者を決定します。
なお、合計点が600点未満の場合には、合格者としません。

- ⑥ 第1次選考合格者に、大学入学共通テストを課します。
 なお、大学入学共通テストの配点内訳は、次のとおりです。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト						
国 語	地理歴史	公 民	理 科	数 学	外国語 (英語)	計
100	100	100	100	100	100	500

(注) 『国語』及び『英語』の2つの科目(各200点満点)は、それぞれ100点満点に換算します。

なお、『英語』のリスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を英語の得点とします。

- ⑦ 第1次選考合格者のうち、大学入学共通テストにおいて指定する科目の合計点が、概ね5割以上の者を第2次選考合格(最終合格)とします。
 なお、指定する科目を受験していなかった場合は不合格とします。
- ⑧ 第1次選考は、令和8年10月10日(土)に行い、第2次選考(大学入学共通テスト)は令和9年1月16日(土)及び令和9年1月17日(日)に行います。

<その他>

- ① 前期プログラム受講者及び前期プログラム修了者であることをもって、本学への入学を保障するものではありません。
- ② 総合型選抜(Ⅰ型)に出願する者は、本学の一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜(Ⅱ型)にも出願することができます。ただし、総合型選抜(Ⅰ型)の第1次選考合格者は、本学の実施する学校推薦型選抜に出願することはできません。
 なお、学校推薦型選抜を併願する場合は、出願資格をご確認ください。
- ③ 総合型選抜(Ⅰ型)及び総合型選抜(Ⅱ型)の両方を受験し、いずれも合格(第1次選考)した場合には、総合型選抜(Ⅰ型)の第1次選考合格者として扱い、総合型選抜(Ⅱ型)の第1次選考の合格者数には加えません。

(2) II 型

<出願要件>

次の①～②に該当する者です。

- ① 特定の教科に強みを持つ教員になろうとする強い意志を持つ者
- ② 最終（第2次選考）合格した場合は、入学することを確約できる者

<選抜方法>

- ① 特定の教科に強みを持つ教員を目指す高校生を対象に、第1次選考及び第2次選考（大学入学共通テスト（5教科5科目））により、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲・目的意識等を総合的に判定して選抜します。

- ② 第1次選考は、次によるものとします。

ア プレゼンテーション及び面接

プレゼンテーション及び面接では、「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「人間力」を評価します。

【知識・技能】

高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。

【思考力、判断力、表現力】

物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

- ③ プレゼンテーション及び面接は、次によるものとします。

ア 次の6教科から一つ選択します。

選択教科・・・音楽、美術、保健体育、英語、数学、理科

イ 個別面接のほか、プレゼンテーションを行います。

ウ プレゼンテーション及び面接は、自己推薦書及び調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

- ④ 第1次選考における合否の判定基準は、次のとおりとします。

ア プレゼンテーション及び面接の合計点（1000点満点）の得点順に各選択教科上位2人の第1次選考の合格者を決定します。

なお、合計点が600点未満の場合には、合格者としません。

- ⑤ 第1次選考合格者に、大学入学共通テストを課します。

なお、大学入学共通テストの配点内訳は、次のとおりです。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト						
国 語	地理歴史	公 民	理 科	数 学	外国語 (英語)	計
100	100	100	100	100	100	500

(注) 『国語』及び『英語』の2つの科目（各200点満点）は、それぞれ100点満点に換算します。

なお、『英語』のリスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を英語の得点とします。

- ⑥ 第1次選考合格者のうち、大学入学共通テストにおいて指定する科目の合計点が、概ね5割以上の者を第2次選考合格（最終合格）とします。

なお、指定する科目を受験していなかった場合は不合格とします。

- ⑦ 第1次選考は、令和8年10月11日（日）に行い、第2次選考（大学入学共通テスト）は令和9年1月16日（土）及び令和9年1月17日（日）に行います。

＜その他＞

- ① 本学学部生は、2年次進級時にコース・領域（分野）に分かれることとなりますが、本選抜の合格者は、第1次選考の選択教科ごとに、原則として以下のコース・領域（分野）に所属することとなります。

第1次選考 (選択教科)	2年次進級時のコース・領域（分野）
音楽	教科教育・教科複合コース 芸術創造（音楽）
美術	教科教育・教科複合コース 芸術創造（美術）
保健体育	教科教育・教科複合コース 生活・健康（保健体育）
英語	教科教育・教科複合コース 人文・社会（英語）
数学	教科教育・教科複合コース 自然科学（数学）
理科	教科教育・教科複合コース 自然科学（理科）

- ② 総合型選抜（Ⅱ型）に出願する者は、本学の一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜（Ⅰ型）にも出願することができます。ただし、総合型選抜（Ⅱ型）の第1次選考合格者は、本学の実施する学校推薦型選抜に出願することはできません。
なお、学校推薦型選抜を併願する場合は、出願資格をご確認ください。
- ③ 総合型選抜（Ⅱ型）及び総合型選抜（Ⅰ型）の両方を受験し、いずれも合格（第1次選考）した場合には、総合型選抜（Ⅰ型）の第1次選考合格者として扱い、総合型選抜（Ⅱ型）の第1次選考の合格者数には加えません。

9 受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、病気や負傷、障害等があることにより、受験上又は修学上の配慮を必要とする場合や、日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車椅子及び読書補助具等を使用して受験する場合は、下記の期日までに本学入試課に必ず申し出てください。

- 総合型選抜 … 令和8年8月7日(金)まで
- 学校推薦型選抜 … 令和8年10月30日(金)まで
- 一般選抜 … 令和8年11月20日(金)まで

- ※ 受験上の配慮は必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする者は、申し出てください。
- ※ 期日を過ぎてからの申し出の場合、必要な環境調整や持参される道具の確認等の対応が困難な場合があります。
- ※ 期日以降に発生した不慮の事故等により、受験上又は修学上の配慮を必要とする場合は、速やかに本学入試課まで連絡してください。

10 学生募集要項の発表

各選抜についての出願期間、試験日程、試験場、出願手続、その他入学者選抜に必要な詳細事項は、「**学生募集要項**」により発表します。発表時期は以下のとおりです。

- 総合型選抜 … 令和8年7月下旬（予定）
- 一般選抜及び学校推薦型選抜 … 令和8年11月上旬（予定）

11 学生募集要項等の入手方法

- (1) 学生募集要項（PDF版）は、本学ホームページから閲覧・ダウンロードできます。（PDF版も冊子体も同じ内容です。）

大学案内は、本学ホームページでご覧いただけます。

また、学生募集要項又は大学案内の冊子体を希望する場合は、次の(2)、(3)、(4)のいずれかで請求してください。なお、総合型選抜に係る学生募集要項はPDF版のみです。

- (2) テレメールで請求する

- ① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

上越教育大学のホームページから	https://www.juen.ac.jp/ の「資料請求」からアクセス	
テレメールのホームページから	https://telemail.jp	

- ② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金 (送料含む)	発送開始日
大学案内	562702	180円	随時発送中
学生募集要項	582702	180円	11月上旬
学生募集要項 + 大学案内	542702	215円	11月上旬

- ③ あとはガイダンスに従ってください。

- ※注 ・資料の料金は、お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
- なお、料金は資料の重量により変更になる場合があります。
- ・料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（PayPay 請求書払い、au PAY請求書支払い）」がご利用になれます。Pay Pay、携帯キャリア払い、クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料118円が、支払い時に別途必要です。

■テレメールでの請求方法についてのお問い合わせは
テレメールカスタマーセンター
電話 050-8601-0102（9:30～18:00）まで

（３）モバっちょで請求する

①下記のいずれかの方法でモバっちょにアクセスしてください。

上越教育大学のホームページから	https://www.juen.ac.jp/ の「資料請求」からアクセス	
モバっちょのホームページから	https://djcm-b.jp/juen/	

②料金は以下のとおりです。（※料金は変更となる場合があります。）

資料名	料金 (送料含む)	発送開始日
大学案内	250円	随時発送中
学生募集要項	250円	11月上旬
学生募集要項 + 大学案内	350円	11月上旬

- ※注 ・お支払い時、資料ごとに支払い手数料が必要です。（携帯・スマホ払い、クレジットカード決済は50円、コンビニ後払いは126円）
- ・土日や祝日の配達はありません。

■モバっちょでの請求方法についてのお問い合わせは
大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
電話 050-3540-5005（平日10:00～18:00）まで

（４） 本学への直接請求

直接来学されるか、上越教育大学入試課 電話025-521-3294（平日9:00～17:00（夏季一斉休業（8月12日から8月14日まで）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く。））へお問い合わせください。

直接来学される場合は、本学入試課で配布しています。

郵送での受け取りを希望する場合は、別途着払い料金が発生します。

12 出願方法

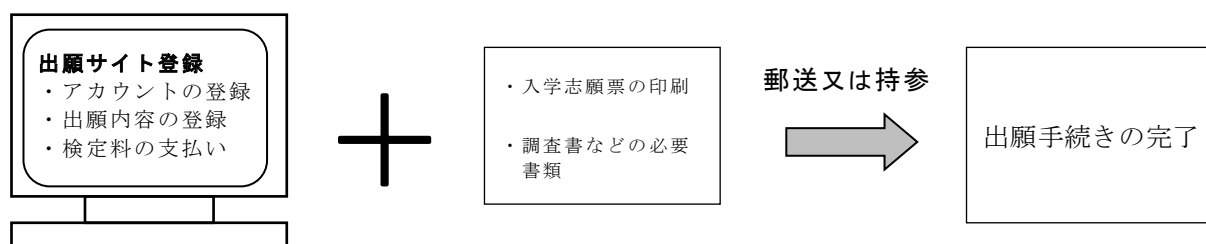
本学の入学試験の出願方法は、「インターネット出願」です。

ご利用にあたってはメールアドレス・パソコン（インターネット接続済）・プリンター（A4出力）が必要です。

インターネット出願において、必要事項の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了ではありません。出願に必要な書類を郵送する必要があります。出願書類の提出期限（必着）をよく確認し、郵送に要する日数を考慮したうえで期限に間に合うよう手続きしてください。

なお、事情によりインターネットを利用することができない方は、本学入試課へご連絡ください。

<インターネット出願の流れ>



出願前に必要書類の事前準備をお願いします。（調査書等）

本学は、大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続きとして「Web方式」を採用しています。「成績請求チケット」の提出は不要です。

- ・調査書
- ・顔写真データ（JPEGのみ 100KB以上 3 MBまで）
- ・推薦書（学校推薦型選抜のみ）
- ・自己推薦書（総合型選抜（Ⅱ型）及び学校推薦型選抜のみ）

① インターネット出願サイトへアクセス

本学入試情報ホームページ

→ <https://www.juen.ac.jp/060admissions/020faculty/index.html> にある、「インターネット出願」のバナーからアクセス。

※ 「インターネット出願登録期間」以外は出願登録はできません。

② 出願期間

	インターネット出願登録期間 及び検定料支払期間	出願書類提出期限
総合型選抜 〔Ⅰ型〕 〔Ⅱ型〕	令和8年9月1日（火）10時から 令和8年9月7日（月）15時まで	令和8年9月7日（月）17時まで
学校推薦型選抜	令和8年12月1日（火）10時から 令和8年12月8日（火）15時まで	令和8年12月8日（火）17時まで
一般選抜 〔前期日程〕 〔後期日程〕	令和9年1月25日（月）10時から 令和9年2月3日（水）15時まで	令和9年2月3日（水）17時まで

詳細については、学生募集要項（本学ホームページに掲載）でご確認ください。
総合型選抜は7月下旬、一般選抜及び学校推薦型選抜は11月上旬に発表予定です。



2027 入学者選抜要項

令和8年7月発行

編集発行 ■ 上越教育大学入試課

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

tel. 025-521-3294

<https://www.juen.ac.jp/>